

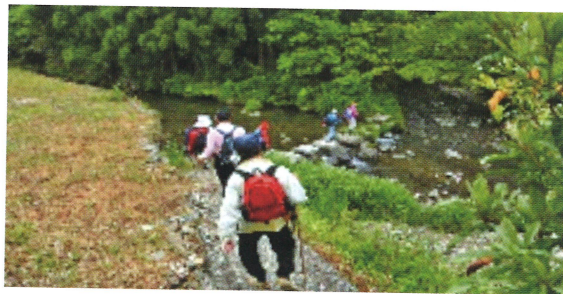
塩の道

～歩きたい人との出会い 地域の宝～

ゆらい 由来

今から約400年前、現在の香南市香我美町岸本から吉川町にかけての海浜は、一大製塩地でした。赤岡では塩市が開かれ、この塩を奥地に運ぶための道を「塩の道」といいました。塩に限らず生活必需品も運搬されていました。

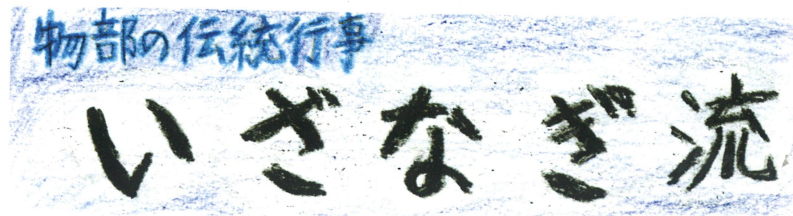
大栃から赤岡までの約30kmの「塩の道」は、平成16年、日本ウォーキング協会が選定する「歩きたくなる道500選」に選ばれました。



「塩の道保存会」の活動

平成14年にできた保存会は、「塩の道」を多くの人に知ってほしいという熱い思いから様々なイベントを開催し、情報発信しています。なかでも人気のあるのが「塩の道ウォーキング」。あなたも歩いてみませんか。

大切に受け継いでいる



いざなぎ流は、国の重要無形文化財にも指定された、物部町に昔から受け継がれている祭りやお祈りです。祭りは太夫と呼ばれる人たちによって行われてきましたが、近年太夫の数も減り、残された資料などをもとに、保存会の人たちが中心となり、地元「大栃小・中学校」の子どもにまいかぐら舞神楽を伝えてくれています。

